

# 5・3憲法フェスティバル平和委員会の役割を果たそう！ さらなる奮闘をお願いします

4月12日の第4回理事会で5・3憲法フェスティバルの具体的な取り組みを決めましたが、その後、各平和委員会ではフェスティバル成功に向けて活発に奮闘しています。まだおこなっている所はそれぞれ目標を決め急ぎ取り組みを強めてください。

- ・ さくらのまち日立平和委員会：21日に会議を開いた。最低5名は確保するよう申し合わせた。
- ・ 太田平和の会：25日役員会を開く。昨年の実績からして10名以上は参加するようにしたい。
- ・ 東海村平和委員会：23日、東海駅頭で750枚チラシ配付を5人で配布した。今までに無く受けとってくれた。会では東海のほかの団体と共同で今年も美味しい「すいとん」を販売する。10名以上は固い。さらに呼びかけを拡げて参加する。
- ・ ひたちなか平和の会：いま、力のある人が2～3名ずつ誘い合っていくように取り組んでいる。独自のチラシも考えて見たい。10名以上は参加間違いなし。昨年を上回るように努力している。
- ・ おおみや平和の会：20日、早春の山で楽しい交流会を開催。5月3日には「鬼切り地蔵」頒布等のお店を出します。乗合で20名参加を目標に頑張っている。
- ・ なか平和の会：昨年、5月3日の取り組みが朝日新聞に写真入りで出てみんな張り切っている。いま、13名だがもっと増やして参加したい。
- ・ 水戸西平和の会：代表の小川弘二さんが個人20名と2つの団体から賛同取ってきてくれた。もっと集める。5・3をみんな楽しみにしている。シートを持って参加する。
- ・ 内原・友部平和の会：19日、新緑に囲まれて里山のつどいを開いた。10名以上の参加を申し合わせて飯村会長を先頭に努力する。
- ・ 鹿行平和委員会：27日に「日本の青空」の上映と合わせて取り組んでいる。鹿行全体で30名を何とか実現

させたい。

- ・ 石岡平和の会：植田代表を先頭にみんなそれぞれ忙しいが10名以上は何とかみんなで相談して決めていきたい。
- ・ 阿見町平和の会：独自のお誘いのチラシをつくり取り組んでいる。5名以上で参加したい。
- ・ 下館平和委員会：5月10日に総会を準備している。地域の主婦人や農民連の人たちを誘い10名を下回ることなく参加する。
- ・ ゆうき平和委員会：市職のワゴン車では乗り切れない場合はマイクロバスを出すことを検討したい。15名以上を何とか確保したい。
- ・ 取手平和委員会：今年の5・3は大勢で参加しようと取り組みを強めている。
- ・ つくばみらい平和の会：東京の集まりにいく人もいるが水戸には5人目標で取り組んでいる。
- ・ 竜ヶ崎、土浦では独自の「集会」に奮闘中。その他やさと・つくば・荳崎・北茨城などでそれぞれ努力、奮闘中です。

各地域の参加者要請は以下の通りです。周りの人に賛同を呼びかけ。楽しむと同時に今日の憲法を祝い、多数の参加で成功させましょう。

- ・ 地域の他団体とくに9条の会などと協力して。平和委員会関係で200名以上
- ・ 県北地域：50～80名
- ・ 水戸地域（笠西・内原・友部含む）：100名～
- ・ 鹿行地域：30名～
- ・ 県西地域：30名～
- ・ 県南地域（石岡・小美玉・阿見中心）：30名～
- ・ 県南地域（取手・守谷・つくば中心）：30名～

## 5・3憲法フェスタ残る2週間、 成功めざし意志統一！

4月20日、各団体から20名が参加して最後の第3回実行委員会が開催されました。「実行委員会」が結成されてから1ヶ月間の取り組みのまとめと、「5・3フェスティバル」まであますところ2週間、やるべき事をみんな確認・意志統一しました。

1. チラシ・ポスターの配付：4万枚のチラシは3万8000枚活用、残す2000枚も配付予定。600枚のポスターもすでに500枚活用済み。残る100枚は実行委員会の翌日水戸商店街や公民館などをお願いしてポスターが足りなくなる状況。水戸地域周辺への宣伝カー使用については23日から走り出しました。

2. 舞台出演者関係・プログラム進行表の準備などを最終決定しました。また、当日の会場関係・会場整理・駐車場・舞台要員等も決まりました。

3. 個人・団体の賛同が目標よりかなり遅れており、団体賛同については、昨年の実績を基準に実行委員会の構成団体がより多くの団体に働きかける事。さらに24日の事務局会議で最終的な追い込みを検討します。個人の賛同の促進もそれぞれの団体が当初の目標に向けて責任を果たしていく事を申し合わせました（平和委員会は個人賛同1000）。

4. 参加者の見通しについては、みんなが楽しく、憲法の大切さを理解し合い、憲法記念日を国民のものにしていく事を最後まで呼びかけることを確認しました。

## 平和かわら版

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

No. 500

月3回発行

2008.4.25



# 「平和かわら版」が500号おめでとうございます。

## 貴重な体験「かわら版編集」

つくばみらい平和の会 芦田 洋治

私は東京の職場へ遠距離通勤をされていて、茨城の我家には寝に帰っていたような生活でした。しかし、定年が近くになって、地元での生活・活動を考えるようになりました。

その頃、地元で平和委員会（筑守平和の会）を作ることが準備されていて、私もそこに参加することになりました。初めて平和の会を運営する上で、「平和かわら版」は欠かせない存在でした。県平和委員会の方針を知ることでも大事ですが、各地域の「平和の会」の活動内容を知ることが大変参考になりました。

定年後、縁あって県平和委員会の事務所にボランティアに行くことになりました。仕事は「平和かわら版」編集などでした。私は茨城での活動経験がなかったので人のつながりがなく、原稿集めに苦労しました。そこで「憲法条文を紹介する」「わが平和委員会（平和の会）」などの囲み記事をシリーズで始めました。

その後、地元でやることが多くなり数年間でボランティアは止めましたが、私にとっては貴重な体験でした。500号の一部分に関わった経験を大切にしていきたい。そして、今後も「平和かわら版」を地元の平和の会活動に活用していきたいと思います。

## 東京の空からエールを

東京都在住会員 佐川 廣文

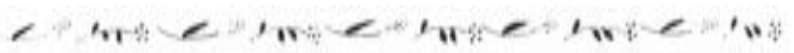
いま「かわら版」NO.499が手元に届いた。茨城の草の根平和運動の発信紙としての手作り通信が県内の平和運動に果たしている役割は計り知れないものがある。特に私のように郷里を離れている者には、書き手の方々の顔と地域の運動が生き生きと伝わってくる。また、最近の紙面は初めて拝見する投稿者の名前が多い。これは県内の運動が広がっているためと推測しているのですが如何。

初期のかわら版発行では、伊達さんが原始的なワープロに向かって慣れない手つきで悪戦苦闘している姿がよみがえ

る。しかし、運動の経験と実践から生まれた記事は肩肘張ることなく、運動に関わる人々に勇気と展望を持たせ、時には笑いを誘いながらの名文が生み出されてきた。最近では加藤さん、鈴木さんをはじめとし、複数の編集者体制により多岐に渡った内容になった。だからこそ500号まで続き、読まれ、そしてこの財産はますます大きくなって行くことであろう。

茨城県平和委員会再々建に関わった一人として、私は手元に届く平和新聞に目を通すのや晩酌は後回しにしても「かわら版」を読むのを楽しみしている。

継続は力と言われるが、会員ひとり一人の力と協力共同がなければ継続はしないものである。500号おめでとうございます。



## 短歌三首

「かわら版」平和の願いいっぱい

読者もさらにいっぱいになれ

水戸みなみ平和の会 田中 日出夫

運動論勿論大事それと共に

平和への願いの根本にもふれて

平和への連帯への輪を広げ

九条の会とも手をとって



3月12日(土)パトリオット配備について米軍機くるな茨城実行委員会が防衛大臣に申し入れた文を以下に示します。(申し入れの様子は「かわら版」No.496を参照)

2008年3月11日

防衛大臣 石破 茂 殿

米軍機くるな茨城実行委員会

連絡先 水戸市見川5-127-281 茨城県平和委員会

電話・FAX029(251)2806

パトリオットミサイルPAC3の霞ヶ浦分屯基地配備の中止を求める申し入れ書

政府はミサイル防衛計画のもとつき、3月末までに自衛隊霞ヶ浦分屯基地にPAC3ミサイルを配備しようとしています。この計画は次の点で憲法違反、安保条約の拡大であるとともに、首都圏の平和と安全を脅かすものであり容認できません。

- ① ミサイル防衛計画は、アメリカの先制攻撃戦略の一部であり、同盟国に軍事負担を負わせるものです。さらに、米軍再編の実施計画の中では、自衛隊のミサイル防衛の指揮を執る航空総隊司令部が米軍横田基地に移転し、米軍の事実上の指揮下に置かれることになっています。このような計画は日本をアメリカの戦争に一層まき込み平和を脅かし、霞ヶ浦分屯地への配備は平和地域を戦争地域にかえるものです。
- ② 日本のミサイル防衛計画は事実上北朝鮮の弾道ミサイルを対象としたものです。しかし、衆知のとおり、6カ国協議の進展によって、北朝鮮の核武装問題の解決と北東アジアの平和的な関係改善に大きく道が開かれています。対話を通じての問題解決こそ今望まれる道であり、日本がミサイル防衛計画を進める意味は全くありません。いたずらにアジアの緊張を高めることはやめるべきです。
- ③ また、「パトリオットミサイル PAC 3」は射程距離が20km程度といわれ、弾道ミサイル攻撃に対抗しようとするれば、日常的に基地外へ機動展開をすることが必要となります。

このことは、居住地域での「ミサイル機動展開」が想定され、「戦時の日常化」であり住民を戦争の恐怖に巻き込むこととなります。

断じて許されるものではありません。

以上の点から、次の通り申し入れるものです。

記

ミサイル防衛計画を中止し、霞ヶ浦分屯基地へのPAC3配備を行わないこと

以上

## 事務局便り

イラク派兵違憲判決について、航空自衛隊のトップの田母神航空幕僚長はお笑いのギャクを引用し、「そんなの関係ねえ」と発言。

日本は法治国家である。そして、公務員は憲法尊重の義務がある。軍のトップの驕りがかつて通ってきた道を、軍を暴走させ、侵略の道へ、そして塗炭の苦しみを国民へ強いた。許してはならない。

(加)